

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立大垣特別支援学校		
実 施 期 間	平成26年11月29日(土)～30日(日)		
実 施 概 要	学校祭「おおとぼフェスタ」の公開 ①児童生徒によるステージでの発表 ②生徒の作業学習・部活動に関する発表、販売会 ③保護者による地区バザー ④ボランティア団体・施設・作業所等によるイベント・バザー等		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等  <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	419 人	計 926 人
	地 域 関 係 者	507 人	
実 施 状 況	「スマイル いっぱい おおとぼフェスタ」のスローガンの下、2日間にわたり、学校祭「おおとぼフェスタ」を以下のように実施した。 <input type="checkbox"/> 1日目 ・小学部・中学部・高等部のステージ発表、和太鼓部や鼓笛部の演奏発表、高等部重複学級の教室発表を実施した。 <input type="checkbox"/> 2日目 ・中学部作業製品発表と販売会「CHUストア」、高等部作業製品発表と販売会、絵本の読み聞かせ、わくわく集会、施設作業所や同窓会、PTAによるバザー等を実施した。 ・ミナモが校内を参観し、作業学習発表・販売会で作業製品を手にとって見てもらった。わくわく集会(※1)では、参加者全員でおおとぼマン(※2)とミナモの貼り絵を作り、完成したところでミナモが登場した。ミナモダンスをいっしょに踊り、大いに盛り上がった。 ・閉会式の前にミナモ工場の認証式が行われ、ミナモから認証状と記念品が校長と生徒会役員に手渡された。 ・多くの人々が参加し、大盛況なおおとぼフェスタとなった。  ※1：児童生徒、保護者、教師が集い、みんなで歌を歌ったり踊ったり工作をしたりする集会 ※2：おおとぼフェスタを盛り上げるためのキャラクター		

成果及び課題	<p>□成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒一人一人が日頃の学習課題を劇の中で発表し、これまでの取組の成果を発揮することができた。保護者からも「子どもたちの頑張りが伝わってきた。」等との感想が多く出され、達成感を味わうことができた。</li><li>・販売会では、保護者や地域の来場者から「上手にできているね」「がんばっているね」などと声をかけていただき、仲間と喜び合うことができた。</li><li>・スローガンのとおり笑顔いっぱいのおおとばフェスタとなり、児童生徒たちには、やりきった成就感や達成感が満ちあふれていた。そして、日頃の学習の成果を発揮することができた。</li><li>・20人のボランティアやPTAの協力を得ておおとばフェスタを運営した。保護者、地域の人々、卒業生等多くの来場者があり大盛況であった。</li><li>・児童生徒は、保護者や地域の人々、卒業生等多くの来場者とふれあい関わることができた。</li></ul> <p>□課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・校内の様々な部署が協力連携して準備をしてきたが、連携不足があったりボランティアさんにご迷惑をかけたりすることがあった。連絡調整の在り方等について検討が必要である。</li><li>・アンケート結果からおおむね肯定的な評価を得たが、プログラムの設定やイベントの数や内容、取組の準備等について、反省評価をする必要がある。</li><li>・多くの人々が参加するため、安全面や緊急時の対応について、校内においてさらに準備しておく必要がある</li></ul>
--------	--